

# 住友理工で働くということ

1929年の創業以来、防振ゴムやホースなどの開発を通じて自動車産業の発展を支えてきた住友理工は、自動車分野だけでなく、一般産業用品のインフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアといった幅広い分野で事業を展開しています。今回は、社会動向やニーズの変化に合わせて変革が求められるものづくりへの想いや魅力、目指す未来の姿について、名古屋工業大学の学生とともに語り合いました。

地元学生 × 現役社員  
ものづくり  
座談会

住友理工株式会社

名古屋工業大学



住友理工株式会社

会社名	住友理工株式会社
創立	1929年
資本金	121億45百万円
本社所在地	愛知県小牧市東三丁目1番地 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
従業員数	連結 / 25,045名 単独 / 3,249名 (いずれも2023年3月末現在)
主要製品	自動車用品部門 / 防振ゴム、ホース、制音部品・内装品、 燃料電池 (FC) 部材、ゴムシール材 一般産業用品部門 / 精密樹脂ブレード・ロール、鉄道車両用・ 住宅用・橋梁用防振ゴム、高圧ホース・搬送用ホース

採用についての  
詳細は  
こちらから



この座談会の記事は、ビジネス情報サイト「中日BIZナビ」でも公開されています。 [中日BIZナビ](#) 検索

## 想いを形にする ものづくりの面白さ



**福田** 住友理工では、自動車用部品や新幹線・高速道路といったインフラ網を守る防振ゴムのほか、プリンター内部の精密部品、介護用品などエレクトロニクスやヘルスケアの分野でも幅広い製品の開発・製造を行っています。自動車事業においては、防振ゴムが世界シェアトップ、自動車用ホースも世界トップクラスのシェアを占めます\*1。さらに、当社のコアコンピタンス (中核となる能力) である高分子材料技術と総合評価技術を組み合わせることで、新技術・新商品の開発も進めています。素材から新商品の開発・設計、生産、品質管理まで、一貫した生産体制を整えていることが大きな強みであり、日本国内のみならず海外でもものづくりに力を入れているのですが、電気や機械について学んでいる学生の皆さんは、ものづくりに対してどのような想いを持っていますか。

**高橋** 自分が自由に考えたことを目に見える形にして動かせるところがものづくりの面白さかなと考えています。将来の職業選びにあたって、何か「自分の成したことを形にしたい」という思いは大事にしていきたいですし、大学では制御系の研究をしているので、ものを動かす業務に携わりたいと思っています。



**鎌田** 確かに、ものづくりに学校のテストのような答えはありません。例えば、ゴムという素材に向き合い、さまざまな分析・研究、試作品製作を繰り返して目に見えるものを作り上げていく。試行錯誤の末に何かを生み出せたときは、やはり「ものづくりって面白いな」と感じますね。ひとつの製品が出来上がるまでのアプローチは無数にある。答えがないからこそ面白いのです。

**近藤** 基本的に数値で表せるのが技術系の仕事の良いところですね。「何となく」ではなく、ロジカルに分析を積み重ねていった先に製品としての答えがある。ものづくりは、この積み重ねのプロセスが面白いです。私は一般産業用品の新商品開発等に携わっているのですが、開発途中でプロジェクトが打ち切りになることもあります。自分が開発した製品を世に出すことは難しいのですが、だからこそ実際に社会に貢献できたときの達成感があります。難しさを面白がれる人は、ものづくりの仕事を楽しめると思いますね。

**上野** 私は中学生のころから電子工作が趣味で、ものづくりの現場で働きたいと考えています。しかし、社会の役に立つ製品の開発・製造となると、単なる趣味の延長ではなく「どのように付加価値を与えるか」という視点が必要になるので難しく感じています。

**鎌田** 住友理工はIoTや新しいロボットの活用も進めていて、社内でもDXに力を入れています。設備の不具合などの情報をクラウド上に集めて、同じエラーが起きないように分析して事前にアラートを出



したり、人とロボットがともに安全を確保しながら作業ができる協調ロボットの導入を進めたりしています。住友理工の事業には、機械と電気を支えられているものづくりが非常に多いので、趣味としての電子工作の知識は業務に生かれますし、好きという気持ちがあれば、よりものづくりを楽しめると思いますよ。

## 人と社会のニーズに応える 技術職の魅力とやりがい

**高橋** 技術者として働くうえでは、業務に関する専門的な知識や技術が必要なイメージがあるのですが、ある特定の専門知識以外の部分で「学生時代に学んだことが生きているな」と感じることはあります。

**鎌田** 私は学部生時代に、半導体の材料の研究をしていましたが、半導体の知識は今の業務に直結しているわけではありません。しかし、「材料」を扱うという点では、半導体材料と住友理工のゴム材料には共通部分があり、学んできた知識が問題解決に役立つことは多くあります。

**近藤** 私が開発に携わっている製品においては、ゴムセンサーという材料の開発から商品化するための設計技術、電子回路をつけるための電気やソフトウェアの知識といった幅広い技術と知識が必要とされます。もちろん、業務に直結する専門的知識があれば大きなプラスですが、そうではないからといって無駄になる学びや研究はありません。大学で学び、「これは誰にも負けない」という専門分野を持ったうえで、専門外の領域も積極的に学ぶ意欲がある人は活躍できるなど実感していますね。

**木村** 業務に関連した専門知識しか生かせないということはないですね！実際に働いて、会社や仕事のどんなところに魅力を感じていますか。

**鎌田** 会社全体のチームワークですね。住友理工は、素材から製品の生産・管理まで一貫して行うので、企画段階から技術の研究、製品化というように会社内で部署から部署へバトンが渡っていきます。みんな考えて作り出したものを世に送り出せるのは最大の魅力だと思いますね。

**岩本** 会社全体で製品を作り上げていくという素敵な環境で、皆さんがものづくりに向き合っていることが分かったのですが、今後どのような形で社会に貢献していきたいかお聞かせください。

**鎌田** メーカーとして求められているのは、良品を安価に早くお客様に届けることだと思います。人手不足をロボットやドローンの導入で解消するなど、トレンドの技術を取り入れながら課題解決を進めていければと考えていますね。また、環境保全の面でもカーボンニュートラルやCO2削減のために現場で省エネの取り組みを行ったり、再利用しづらいゴムをリサイクルするための研究を進めたりと、今後も社会貢献には力を入れています。

**赤塚** 自動車産業においては、CASE\*2に代表される、自動運転やガソリンが不要となる電動化、そして一台の車を複数人でシェアするといった動きなどが加速しています。すると当然、部品メーカーは自動車メーカーに貢献できるような新製品の開発を求めら

れますよね。また、一般産業用品部門で睡眠中の呼吸・心拍由来の微振動が測れる装置が開発されたきっかけは、「もっと快適に過ごしたい」という人々のニーズの高まりです。どんどん変化する社会動向に合った研究・開発を進めて、製品を世の中に広く普及させることが、私たちの役割だと思っています。

## 働きやすい職場を実現する 充実した制度と教育体制

**山崎** 働くうえでは、学生時代に得た知識に加えて新たな知識を身に付けることも必要になると思うのですが、入社後の学びの場や機会はあるのでしょうか。

**赤塚** 新入社員向けの研修があるのももちろんのこと、製品として扱うゴムについて学ぶ講習やCAD等の設計ソフトなど必要な知識や技術を習得するための研修が用意されています。また、入社後3年目までは、先輩社員がマンツーマンで業務サポートするOJT制度があるので、安心して仕事を覚えられますよ。社員同士や部署を超えての交流がしやすい雰囲気があり、横のつながりから知識や情報を吸収して自分を成長させることもできると思います。

**近藤** 確かに、部署間の隔たりがなく話しやすい人が多いですね。若手のうちから責任ある大きい仕事を任せられるので、上司や先輩に自ら提案しながらものづくりに携われます。

**上野** 裁量ある仕事は大きなやりがいにつながりそうですね！長く働いていくうえでは仕事とプライベートの両立も大事かと思うのですが、職場環境はいかがですか。

**近藤** ワークライフバランスは取りやすいと思います。実際に私は、3カ月間の育児休暇を取った経験があるのですが、社内で男性の育児休暇取得が増え

ているという話を聞き、安心して休みが取れました。基本的に、育児後も同じ部署に戻れるようになっており、フレックスや短時での勤務ができたので、小牧製作所には社内託児所があったりと周囲のサポートも手厚いので、働きやすいと感じます。

**河野** 福利厚生もしっかりと整えられているんですね！最後に、「学生のうちに、これはやっておいたほうがいい」というアドバイスはありますか。

**鎌田** 海外旅行に行くことをおすすめします。社会人になると、なかなか時間が取れないですし、何より海外は日本と違うところが多くて面白いです。私は仕事でメキシコに行ったことがあるのですが、ものづくりの視点で見ても日本では見たことがない製品がたくさんあったり、同じものでも作り方が違ったりと新たな発見ができます。住友理工はグローバル企業なので、海外出張や駐在のチャンスもありますよ。

**岩本** 社員の方一人ひとりがものづくりを楽しみ、電気や機械の知識を生かしながら働ける仕事と職場に大変魅力を感じました。貴重なお話をありがとうございました！

**近藤** 皆さんのものづくりに対する想いが聞けてとても有意義な時間でした。この座談会をきっかけに、住友理工により興味を持っていただけたらうれしいです。



住友理工株式会社

新商品開発センター  
近藤 謙

CROSTALK MEMBER

人材開発部採用課  
福田 万里子

防振製造統括部製造技術部  
鎌田 裕太

防振技術統括部第3技術部  
赤塚 帆乃夏

名古屋工業大学

工学部電気・機械工学科 (機械)  
上野 聡太

工学部電気・機械工学科 (電気)  
河野 遥華

工学研究科工学専攻  
電気・機械系プログラム (機械)  
木村 真帆

工学研究科工学専攻  
電気・機械系プログラム (機械)  
高橋 悠

工学研究科工学専攻  
電気・機械系プログラム (電気)  
山崎 敦也

工学研究科工学専攻  
電気・機械系プログラム (電気)  
岩本 彩月

\*1 住友理工調べ  
\*2 C: Connected (つながる) | A: Autonomous (自動運転) | S: Shared & Services (シェアリング) | E: Electric (電動化) というモビリティの変革を表す4つの領域の頭文字をつなげた造語